

OPTiM Biz ver.10.2.0 バージョンアップ°説明資料

株式会社オプティム

バージョン	更新日	更新内容
1.0	2025/07/31	初版を掲載しました。

目次

1. [本資料の目的](#)
2. [バージョンアップ日程](#)
3. [対応内容一覧](#)
4. [アップデート対象のアプリ一覧](#)
5. [管理サイト](#)
6. [iOS/iPadOS](#)
7. [Android](#)
8. [Windows](#)
9. [macOS](#)
10. [その他](#)
11. [アップデート後の作業](#)
12. [SP様向け対応内容](#)

- 本資料は、OPTiM Bizのバージョンアップ実施に伴う変更点を、ご利用者もしくはパートナーの皆様が、ご理解いただくことを目的としたものです。
- 変更点は、新機能追加、既存機能拡充、仕様変更を主に含みます。
- 本資料読了後、「この変更点はなぜあるのか、目的はなにか、どのようなユースケースを想定するか」等が分かることを重視して記載をします。

□ バージョンアップ日程

- 対象：管理サイト
2025年8月31日(日)10:00-18:00の間
- 上記時刻の間でメンテナンスのため、5時間程度、管理画面の表示および機器の同期できなくなります。
- また上記時間中に管理サイトへのアクセスがあった場合「メンテナンス中もしくは回線混雑によりただいまアクセスできなくなっております。」のメッセージが表示されます。

管理サイト 対応内容	
不具合解消	クライアント証明書、CA証明書表示画面の改善
仕様変更	位置情報地図のスタイル変更
仕様変更	ダッシュボードの「インシデント」を「確認事項」に変更

iOS/iPadOS 機能一覧	
新規機能追加	構成プロファイルのiOS制限にApple Intelligence 制限を追加
不具合改修	構成プロファイルアップロード設定のVPN設定のチェックボックスの自動連動修正
不具合改修	端末の時刻設定によってエージェントアプリの同期が失敗する事象の解消
仕様変更	アプリケーションレポートの項目名「[I]ステータス」を変更
仕様変更	iOSアプリカタログのアプリ一覧画面のレイアウト調整

Android 機能一覧	
既存機能拡充	管理サイトの端末詳細内エージェント位置情報取得表示を拡充

Android 機能一覧	
不具合改修	Androidの「SIMステータス変更検知」で、同一SIMが異なるSIMとして検知される事象を解消
不具合改修	AndroidのWi-Fi詳細設定で、特定の場合に表示されるダイアログの変更
その他	AEのアプリ画面に表示される企業アカウントのアップグレード機能をサポート

Windows 機能一覧	
新規機能追加	Windowsアプリケーション配信の「起動オプション」の上限文字数拡張
不具合改修	機器ログのアプリケーション禁止発生日時の表示修正

macOS 機能一覧	
不具合改修	Mac機器の同期処理が失敗してポータルが配信されない事象の解消

その他 機能一覧	
仕様変更	「Optimal Biz Antivirus by TREND MICRO」の名称を「OPTiM Biz Antivirus powered by TREND MICRO」へと変更
OSサポート	Optimal Biz Gadgetアプリ・AntiVirusのサポート範囲変更

SP様向け 対応内容	
その他	設定テンプレート画面にてSP企業で設定できない設定を非リンク化
その他	「Optimal Biz Antivirus」 名称変更に伴う機能パッケージ名変更のお願い

- バージョンアップ内容をご利用のお客様は、該当のアプリをアップデートしてください。

OS	対象アプリ	バージョン
iOS/iPadOS	iOS/iPadOSエージェント	10.2.0
	App Catalog	2.13.0
Android	ストア版Android エージェント	10.2.0
	ストア版Optimal Biz Antivirus by TREND MICRO	2.5.9

管理サイト

サブタイトルの補足

□ 概要

- 証明書関連のエラー表示となる事象の解消を行います。

□ 内容

- クライアント証明書やCA証明書をアップロードした際に、発行先または発行者情報に日本語等のマルチバイト文字が含まれているなどの場合でも、管理サイト上において画面表示エラーが出なくなります。

◆ クライアント証明書画面

- [Android/Windows/iOS設定](#) > [証明書管理](#) > [クライアント証明書管理](#)
- [機器](#) > [詳細](#) > [設定](#) > [クライアント証明書](#)

◆ CA証明書画面

- [iOS設定](#) > [構成プロファイルアップロード](#) > [その他](#) > [証明書設定](#)
- [Android/Windows](#) > [CA証明書管理](#)

- iOSの構成プロファイルアップロードで証明書をアップロードした際に、発行先または発行者情報に日本語等のマルチバイト文字が含まれているなどの場合でも、管理サイト上において画面表示エラーが出なくなります。

位置情報地図のスタイル変更

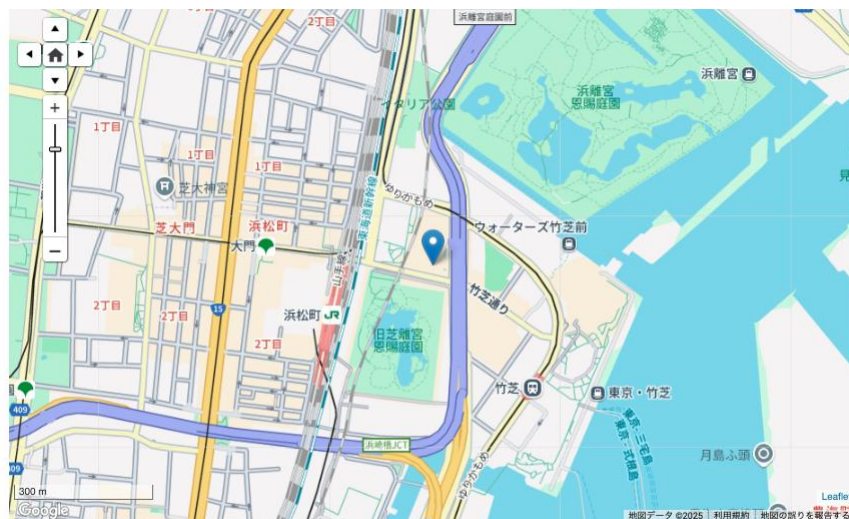
□ 概要

- 管理サイトの位置情報地図に表示される情報を追加・変更します。

□ 内容

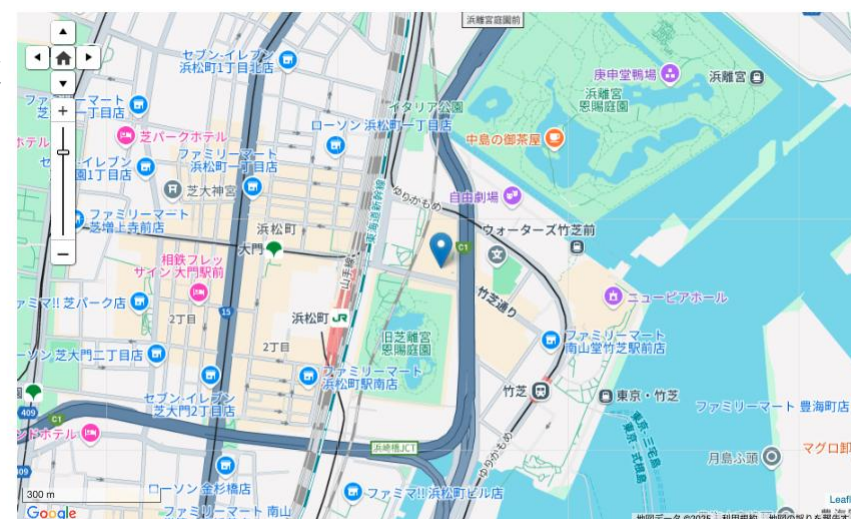
- 道路の色味や表現が一部変わり、付近のランドマーク情報を表示することで、より場所の特定や紛失時の誘導がしやすくなります。

変更前



Googleマップで表示

変更後



Googleマップで表示

ダッシュボードの「インシデント」を「確認事項」に変更（1/2）

□ 概要

- ダッシュボードの「インシデント」を「確認事項」に変更します。

□ 内容

- ログイン後最初に表示されるダッシュボード上の「インシデント」を「**確認事項**」に変更します。
- それに伴い、同様に機器ログの「インシデント」を「確認事項」に変更します。

変更前	変更後
[操作ユーザー]がインシデント設定を変更しました。	[操作ユーザー]が確認事項通知設定を変更しました。
[操作ユーザー]がインシデント「インシデント内容(インシデント発生日時)」を[ステータス]から[ステータス]に変更しました。	[操作ユーザー]が確認事項「確認事項内容(確認事項発生日時)」を[対ステータス]から[ステータス]に変更しました。
[操作ユーザー]がインシデントのステータスを一括で[ステータス]に変更しました。	[操作ユーザー]が確認事項のステータスを一括で[ステータス]に変更しました。
インシデント設定を変更しました。	確認事項設定を変更しました。

- インシデント設定の「MDM管理状態の解除」内「Windows 10 Mobile」を削除します。

※Windows 10 Mobileのサポートは、2018年11月13日をもって終了しています。

ダッシュボードの「インシデント」を「確認事項」に変更（2/2）

□ 画面キャプチャ

変更前



変更後



インシデント

インシデント設定

絞り込み

検索条件: 対応: 未対応 X

1 / 1 ページ (10 件)

☐ 対応	内容	機器名	電話番号	ユーザー名	日時	詳細
☐ 未対応						
☐ 未対応						

確認事項

確認事項通知設定

絞り込み

検索条件: 対応: 未対応 X

1 / 3 ページ (52 件)

☐ 対応	内容	機器名	電話番号	ユーザー名	日時	詳細
☐ 未対応						
☐ 未対応						

iOS/iPadOS

サブタイトルの補足

□ 概要

- 構成プロファイルアップロードのiOS制限設定タブにApple Intelligenceの制限に関する項目を追加します。

□ 内容

- 設定 > iOS > 構成プロファイル > 構成プロファイルアップロードの「iOS制限設定」タブにApple Intelligenceの制限に関する項目を追加します。これによりiOS/iPadOS端末でのApple Intelligenceを使用する機能の使用を制限することができます。

ジェン文字を許可	“メール”のスマートリプライ機能を許可
Image Playgroundを許可	Safariの要約を許可
画像マジックワンドを許可	“メモ”の文字起こし要約機能を許可
メールの要約を許可	ビジュアルインテリジェンスの要約機能を許可
外部インテリジェンスの統合を許可	Apple Intelligenceレポートを許可
外部インテリジェンスの統合へのサインインを許可	“メモ”の文字起こし機能を許可
外部インテリジェンスワークスペースのIDを許可	

□ 諸条件

- Apple Intelligence機能が使用できるiOS18以上の監視対象端末に適用できます。機種の詳細は以下をご確認ください。
 - ◆ <https://www.apple.com/jp/apple-intelligence/>
- 特定OSバージョン以上でのみ対応しているApple Intelligence機能があります。各機能とOSバージョンの詳細はApple Intelligenceのユーザーガイドをご確認ください。
 - ◆ <https://support.apple.com/ja-jp/guide/deployment/dep0f7dd3d8/web>
- iPadでは、ビジュアルインテリジェンス機能は利用できません。

□ 注意点

- Apple Intelligenceの制限項目のうち、依存関係のある機能がありますのでご注意ください。
 - ◆ 「"メモ"の文字起こし機能を許可しない」を設定すると、端末で「"メモ"の文字起こし要約機能」が利用できなくなります。
 - ◆ 「外部インテリジェンスの統合を許可しない」を設定すると、端末で「外部インテリジェンスの統合へのサインイン」および「外部インテリジェンスワークスペースのID」を設定する機能が利用できなくなります。
 - ◆ 「外部インテリジェンスの統合へのサインインを許可しない」を設定すると、端末で「外部インテリジェンスワークスペースのID」を設定する機能が利用できなくなります。

□ 制約事項

- iPadOS 18のShared iPad端末にはApple Intelligence申請画面が表示されず、Apple Intelligenceが利用できません。
- 「"メモ"の文字起こし機能を許可」の機能制限はiOS 18.2 および iOS 18.3 では端末の設定アプリに表示されても、実際にメモアプリで文字起こし機能を制限できません。iOS 18.4 で改善しており、以降のOSではメモアプリでの文字起こし機能を制限できます。
- 「"メモ"の文字起こし要約機能を許可」「外部インテリジェンスワークスペースのIDを許可」「ビジュアルインテリジェンスの要約機能を許可」の機能制限はiOS 18.3 以降の機能ですが、iOS 18.2 の端末で、端末の設定アプリに表示されます。

□ 概要

- 構成プロファイルアップロードのVPN設定において、IKEv2を選択後、「すべてのトラフィックをVPN経由のルートにルーティングする」を選択した際の連動を修正します。

□ 内容

- 設定 > iOS > 構成プロファイル > 構成プロファイルアップロード > [任意の構成プロファイル] > その他 > VPN設定において、接続タイプがIKEv2の場合、Wi-Fi接続の「すべてのトラフィックをVPN経由のルートにルーティングする」の切り替えに連動する他のチェックボックスの活性化・非活性化が正しく動作しない事象を修正します。
- 事象発生中に該当の設定を行い、本来であれば非活性になっているはずの設定を変更してしまった場合でも、実際に端末に配信された際には本来設定できないはずの値は無視されるため、影響はありません。
- 事象が発生している保存済みのプロファイルは、バージョンアップ後に「編集」ボタン→「保存」ボタンの順に押下することで修正されます。

□ 概要

- iPhone/iPadの時刻設定で24時間表示がOFFになっている場合にエージェントアプリの同期が失敗する事象を解消します。

□ 内容

- iPhone/iPadの端末の 設定 > 一般 > 日付と時刻 > 24時間表示 の設定がOFFになっている場合に、エージェントアプリの同期が失敗して発生する、以下の事象を解消します。
 - ◆ 管理サイトで位置情報が確認できない
 - ◆ メッセージ配信を行ったメッセージが既読済みか確認できない

アプリケーションレポートの項目名「[I]ステータス」を変更



概要

- アプリケーションレポートおよび機器情報詳細の「アプリケーション」において、「[I]ステータス」の項目名を変更します。

内容

- アプリケーションレポート（CSV） および機器 > 一覧 > 詳細 > 情報：アプリケーションにおいて、「[I]ステータス」の名称を「iOSアプリのインストールステータス」に変更します。

☒ Microsoft Update更新プログラム(適用済み)

レポート更新 選択した項目でアプリケーションレポートを再度作成します。

CSVダウンロード 現在表示中のレポートをCSVとしてダウンロードします。

アプリケーション数: 2812

[I]データサイズ	[I]キャッシュサイズ	[I]初回検出日時	[I]ステータス	[I]製品ファミリー	[I]発行元
24.5 KB	14.0 KB				
0 Byte	0 Byte				

レポート更新 選択した項目でアプリケーションレポートを再度作成します。

CSVダウンロード 現在表示中のレポートをCSVとしてダウンロードします。

アプリケーション数: 2 更新日時: 2025/06/12

ド署名	[I]アップデート可能	[I]アプリケーション削除防止	[I]iOSアプリのインストールステータス	[I]削除指示	[I]受信日時
(なし)	いいえ	取得不可		取得不可	取得不可
(なし)	いいえ	アプリのインストール中		いいえ	2025/05/23 23

ケーションID ※1 ↓	バージョン番号	iOSアプリのインストールステータス ※2	削除指示 ※2	受信日時 ※2	詳細
ed_ios_identifier	(なし)	アプリのインストール中	いいえ	2025/05/23 23:30:02	➡
aged_ios_identifier	(なし)	取得不可	取得不可	取得不可	➡

「ス管理を用いて取得するため、同期をしなくても値が更新される場合があります。
ため、「取得不可」という表示になります。

アップデート可能 (なし)

アプリケーション削除防止 いいえ

iOSアプリのインストールステータス ※2

アプリのインストール中

削除指示 ※2 いいえ

受信日時 ※2 2025/05/23 23:30:02

※1, ※2共通 管理対象アプリについては管理型デバイス管理を用いて取得するため、同期をしなくても値が更新される場合があります。
※1 非管理対象アプリについては同期をして値を更新します。
※2 非管理対象アプリについては取得できない情報のため、「取得不可」という表示になります。

強制バージョンアップ

iOSアプリカタログのグループ詳細画面のレイアウト調整



□ 概要

- アプリカタログのグループ詳細画面で端末によって中央部に余白が生じている事象を解消します。

□ 内容

- アプリカタログのグループ詳細画面で端末によって中央部に余白が生じている事象を解消します。

変更前



変更後



Android

サブタイトルの補足

□ 概要

- 機器 > 機器詳細(Android) > エージェント の「位置情報取得」の表示内容を拡充します。

□ 内容

- 機器 > 機器詳細(Android) > エージェント の「位置情報取得」の表示内容を拡充します。

◆ 変更前

- 「許可」（端末で「常に許可」「アプリの使用中的み許可」選択時に表示されます）
- 「不許可」（端末で「毎回確認する」「許可しない」選択時に表示されます）

◆ 変更後

- 「常に許可」（端末で「常に許可」選択時に表示されます）
- 「アプリの使用中的み許可」（端末で「アプリの使用中的み許可」選択時に表示されます）
- 「不許可」（端末で「毎回確認する」「許可しない」選択時に表示されます）
- 「許可」（エージェントが最新でない場合、端末で「常に許可」「アプリの使用中的み許可」選択時に表示されます）

- 機器レポートCSV(エクスポート)

- ◆ [I]位置情報取得で出力される値に「常に許可」「アプリの使用中的み許可」を追加

□ 諸条件

- エージェントを最新バージョンにしてご利用ください。

□ 画像

変更前

エージェント(Android機器01)

通信日時: ██████████

エージェントバージョン

██████████

通信日時

██████████

認証日時

██████████

位置情報取得
許可

付近のデバイス
(Unknown)

アプリの通知権限
(Unknown)

Androidエージェント種別
(Unknown)

変更後「常に許可」

エージェント(Android機器01)

通信日時: ██████████

エージェントバージョン

██████████

通信日時

██████████

認証日時

██████████

位置情報取得
常に許可

付近のデバイス
(Unknown)

アプリの通知権限
(Unknown)

Androidエージェント種別
(Unknown)

変更後「アプリの使用中的み許可」

エージェント(Android機器01)

通信日時: ██████████

エージェントバージョン

██████████

通信日時

██████████

認証日時

██████████

位置情報取得
アプリの使用中的み許可

付近のデバイス
(Unknown)

アプリの通知権限
(Unknown)

Androidエージェント種別
(Unknown)

Androidの「SIMステータス変更検知」で、同一SIMが異なるSIMとして検知される事象を解消



□ 概要

- 「SIMステータス変更検知」有効時、稀に同一SIMでもSIMステータス変更が誤検知される事象を解消します。

□ 内容

- 「SIMステータス変更検知」が有効になっている場合、Android端末にて稀に発生する、同一SIMでもSIMステータス変更が誤検知される事象を解消します。
- ログで出力される電話番号がカントリーコードを含まない11桁のものに統一されます。

◆ 修正前

- 以下いずれかの形式が出力

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「00000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の取り出しを検知しました。

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「00000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の挿入を検知しました。

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「+810000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の取り出しを検知しました。

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「+810000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の挿入を検知しました。

◆ 修正後

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「00000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の取り出しを検知しました。

機器「xxxxx」のSIM変更検出 - 電話番号/ICCID : 「00000000000/xxxxxxxxxxxxx」 の挿入を検知しました。

□ 概要

- AndroidのWi-Fi詳細設定で、特定の場合に表示されるダイアログ文言の表記が崩れる不具合を改修します。

□ 内容

- 言語を英語にしたうえで、以下画面でパスワードが未入力のまま保存すると表示されるダイアログ文言の表記が崩れる不具合を改修します。
 - ◆ 設定 > Android > インターネット > Wi-Fiから「ネットワーク一覧 (Network List) 内の「セキュリティ(Security)」で「WPA2-Enterprise」を選択すると表示される「Wi-Fi詳細設定(Wi-Fi Advanced Setting)」

AEのアプリ画面に表示される企業アカウントのアップグレード機能をサポート（1/2）



□ 概要

- GmailメールアドレスでAndroid Enterprise連携（企業アカウント登録）をした企業は、Android Enterpriseの企業アカウントのアップグレードを、「アプリ選択」画面のバナー/ボタンを経由して行うことができます。

□ 内容

- Gmailのメールアドレスで企業アカウント登録を行っている場合、「アプリ選択」画面（managed Google Play iframe）上に『Managed Google Domainsに無料でアップグレード』できるボタン及びバナーが表示されることがあります。このバナー及びボタンを経由して、Gmailメールアドレスの企業アカウントから企業ドメインのメールアドレスの企業アカウントへアップグレードを行うことができます。

◆ 設定 > Android > アプリケーション > Android Enterprise

- 個別アプリケーション > 新規作成 > 「アプリを選択する」
- 企業許可アプリ > 「アプリを選択する」

*管理サイト上で企業ドメインのメールアドレスまたはGoogle Workspaceアカウントで企業アカウント登録を行った企業はアップグレード済みの扱いとなるため、本アップグレードの必要はなく、ボタンも表示されません。

□ 諸条件

- Android Enterprise 連携を行っていること
- Gmailのメールアドレスで企業アカウント登録をしていること
 - ◆ 「Androidキittingマニュアル」における「3 GoogleアカウントでAndroid Enterprise連携を行う」内「3.1.3 Gmailのメールアドレスを登録する場合」の手順
- 企業アカウントのアップグレードには企業アカウント登録を行ったGmailのメールアドレスでGoogleにログインしていること

AEのアプリ画面に表示される企業アカウントのアップグレード機能をサポート（2/2）



□ 注意点

- 当画面による企業アカウントのアップグレードを行っても、すでにキッティング済みのAndroid端末の動作やアカウントに変更はありません。
- managed Google Play iframe上に表示されるバナーによる企業アカウントのアップグレードの際に、Google Workspaceアカウントを入力してアップグレードを行っても、 端末キッティングの際に [Google Workspace アカウントでキッティングする] 手順を行うことはできません。
- 企業アカウントのアップグレードを行っても、管理サイトの [サービス環境設定] > [Android Enterprise(企業アカウント登録)] で表示されているアカウントメールアドレスはアップグレード前のメールアドレス（Gmailのメールアドレス）から変更されません。

□ アップグレード後にできるようになることの表

		企業アカウント登録の方法		
		Gmailアドレス	企業メールアドレス (変更なし)	Google Workspaceアカウント (変更なし)
バナーの表示	アップグレード前	○	×	×
	アップグレード後	×	×	×
Google管理コンソールの利用	アップグレード前	×	○	○
	アップグレード後	○	○	○
Googleの管理基盤サービス名	アップグレード前	managed Google Play Accounts Enterprise	managed Google Domain	
	アップグレード後	managed Google Domain		

Windows

サブタイトルの補足

□ 概要

- Windowsアプリケーション配信で設定できる「起動オプション」の文字数の上限を1,000文字に拡張します。

□ 内容

- Windows > アプリケーション > アプリケーション配信 で設定できる「起動オプション」の文字数の上限を200文字から1,000文字に拡張します。
- 入力内容が見やすくなるよう、画面のレイアウト調整を行います。
- 上限の文字数以上を入力した場合に表示されるフラッシュメッセージを変更します。
 - ◆ 変更前：起動オプションは200文字以内にしてください。
 - ◆ 変更後：起動オプションは1000文字以内にしてください。

設定 - 編集

設定名
Docs ON

アプリケーション一覧

No.	URL	認証方法	起動オプション
1	[Redacted]	Optimal Biz Docs 企業コード [Redacted] ID [Redacted] パスワード ☐ 変更する	1

(+ボタンで追加: 50件まで)

取消 保存



設定

設定名
Docs ON

アプリケーション一覧

No.1

URL
[Redacted]

認証方法
Optimal Biz Docs

企業コード
[Redacted]

ID
[Redacted]

起動オプション
1

No.2

URL
[Redacted]

認証方法
なし

起動オプション
2

編集

□ 概要

- Windowsにてアプリケーション禁止機能が動作した際に表示される機器ログの「発生日時」と「受信日時」が同じになっている事象を解消します。

□ 内容

- アプリケーション禁止設定が適用されたWindows端末で禁止されたアプリを起動しようとした際に表示される機器ログの「発生日時」と「受信日時」が同じになっている事象を解消し、「発生日時」に操作を実行した日時が表示されます。

□ 注意点

- 管理サイトのバージョンアップ以降、受信した機器ログにて本変更が反映されます。そのため、既存で受信済みの機器ログは、日時表示に変更ございません。

macOS

サブタイトルの補足

□ 概要

- 一部のMac機器の同期処理が失敗し、ポータル配信が実施されない場合がある事象を解消します。

□ 内容

- Mac機器の同期処理が一部の機器で途中終了し、後続処理が行われず、ポータルが配信されない事象を解消します。

□ 発生していた事象の詳細

- ポータルが配信されていない機器：配信されないまま
- ポータルが配信済みの機器：再配信が行われない

その他

「Optimal Biz Antivirus by TREND MICRO」の名称を「OPTiM Biz Antivirus powered by TREND MICRO」へと変更

□ 概要

- 「OPTiM Biz」への名称変更に伴い、「Optimal Biz Antivirus by TREND MICRO」の名称を「OPTiM Biz Antivirus powered by TREND MICRO」へと変更します。

□ 内容

- ver.10.0にて実施した「OPTiM Biz」への名称変更に伴い、「Optimal Biz Antivirus by TREND MICRO」の名称を「OPTiM Biz Antivirus powered by TREND MICRO」へと変更します。
- アプリのロゴ・アイコン・一部画面デザインを変更します。
- 利用規約およびプライバシーポリシーを改定します。
 - ◆ 利用規約/プライバシーポリシー改定のお知らせ
 - https://www.optim.co.jp/optim-biz/download/eula_changelog/
 - ◆ 改定後の利用規約/プライバシーポリシー
 - https://www.optim.co.jp/optim-biz/download/antivirus_eula/

ロゴ



アイコン



画面デザイン変更
※一部ダイアログを
白背景に変更します。



□ 以下のアプリについてサポート開始いたします。

- Optimal Biz Gadget
- OPTiM Biz AntiVirus powered by TREND MICRO

対象バージョン	サポートステータス
Android 16-13	サポート対象
Android 12	ベストエフォート対象
Android 11 以下	保証対象外 (Android 11ベストエフォート対応終了)

- 以下のアプリに関しては、6月13日にサポート開始いたしました。
 - Android エージェント
 - Optimal Biz Browser
- 以下のアプリに関しては、7月16日にサポート開始いたしました。
 - Optimal Biz Remote
- 以下のアプリに関しては、Android 16対応およびサポート開始の日程・詳細が確定しましたらご連絡いたします。
それまでは以下のアプリをご利用のお客様はOSアップデートをお控えください。
 - Optimal Biz Web Filtering powered by i-FILTER
 - Optimal Biz Secure Sync
 - Optimal Biz Telework

本バージョンリリース後の作業

サブタイトルの補足

iOS/iPadOS

構成プロファイルの更新は不要です。関連アプリは、App Storeから新バージョンをインストールしてください。

Android

Androidエージェントおよび関連アプリをユーザーによってGoogle Playより手動でアップデートしていただくか、管理者によりmanaged Google Playを利用し、端末へ配信してください。

managed Google Playをご利用の場合、該当アプリの企業許可操作が必要です。次頁に手順を記載しております。

Android(専用デバイス)で利用しているAndroid Device Policyは自動的にアップデートが行われるため、必要な操作はありません。

本バージョンリリース後の作業（managed Google Play）

managed Google Playを利用してAndroidエージェントや関連アプリをアップデートする際は下記の通りです。

□ Google Playより手動でアップデートする場合

- こちらは、管理されているAndroid端末上のGoogle Play Storeから、端末ご利用者様ご本人にて当該アプリを検索し、インストールする方法です。
- 詳細手順はGoogle提供のヘルプが参考になります。
- <https://support.google.com/android/answer/9457058?hl=ja> > 「Google Playからアプリをダウンロードする」

□ managed Google Playを利用して端末へ配信する場合

- こちらは、Android Enterpriseの機能を利用して、管理サイトから端末へアプリを配信する方法です。
- （１）インストール可能なアプリを特に制限しない設定、（２）企業が許可したアプリのみインストール可能になる設定、（３）管理サイトで指定されているアプリのみインストール可能になる設定（※この設定ではサイレントインストール可能）の３種類の設定があります。
- いずれも、管理サイトリファレンスマニュアル 7.5.6 「Android Enterprise／アプリケーション配信」に詳細手順を紹介しております。

□ managed Google Playの承認操作

- こちらは、上記において（２）、（３）の設定を利用するために必要な手順です。
- 詳細な手順は、管理サイトリファレンスマニュアル 7.5.8 「Android Enterprise／企業許可アプリ」をご参照ください。

SP様向け 対応内容

サブタイトルの補足

設定テンプレート画面にてSP企業で設定できない設定を非リンク化

□ 概要

- SP企業の設定テンプレートにおいて、SP企業で設定できる機能のみが設定テンプレート画面でリンクとなるよう改修します。

□ 内容

- メニュー > Android（またはWindows） > 設定テンプレート > (新規作成/編集/表示) において、Androidの「ファクトリーリセット保護」、「Windows情報保護」といったSP企業で設定できない機能がリンクになっており、クリックすると404ページが表示される事象に対する改修です。

□ 諸条件

- SP企業
- 以下の機能パッケージが割り当たっていること
 - ◆ Android > Device Owner Mode > ファクトリーリセット保護
 - ◆ Windows > Windows情報保護

Android ファクトリーリセット保護の例

OSアップデート設定(DOM)	(所属組織に従う)
常時接続VPN設定(DOM)	(所属組織に従う)
セキュリティ設定(DOM)	(所属組織に従う)
ファクトリーリセット保護	(所属組織に従う)
アプリケーション非表示設定(DOM)	(所属組織に従う)
稼働状況ログ取得	(所属組織に従う)
SIMステータス変更検知	(所属組織に従う)

保存

「Optimal Biz Antivirus」 名称変更に伴う機能パッケージ名変更のお願い

□ 概要

- 「OPTiM Biz Antivirus powered by TREND MICRO」 への名称変更に伴い、
SP企業様で設定いただいている機能パッケージ名の変更をお願いいたします。
※設定名変更によるお客様への機能影響はありません。

[A]Optimal Biz Antivirus
機器オプションパッケージ

操作 ▾

設定

割り当て状況
利用企業数
6

設定
機能パッケージ名
[A]Optimal Biz Antivirus
機能
ウイルス対策 (TRENDMICRO)
備考
(なし)

編集



[A]OPTiM Biz Antivirus
機器オプションパッケージ

操作 ▾

設定

割り当て状況
利用企業数
6

設定
機能パッケージ名
[A]OPTiM Biz Antivirus
機能
ウイルス対策 (TRENDMICRO)
備考
(なし)

編集

